

つぎの文の（ ）にあてはまることば
を、あとの からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（がまん強い）ので、
なかなかった。

② かれは、だれにでも（やさしい）。

③ 野きゅうのれんしゅうにいつも（まじめに）
とり組んでいる。

④ かれは、（元気な）だけに、よくあそぶ。

がまん強い まじめに

やさしい 元気な

つぎの文の（ ）にあてはまることば
を、あとの からえらび、かきましよう。

① (しろうじきな) なおきくんは、うそをつく
ことができなかった。

② 先生は、せんせい ないているぼくに (あたたかい)
ことばをかけてくれた。

③ (しんせつな) おまわりさんが、みち ていねいに
おし 道を教えてくれた。

④ ぼくのゆめは、なにごとにもおそれない (ゆ
うきのある) しろうじしになることだ。

しんせつな しろうじきな
ゆうきのある あたたかい

つぎの文の（ ）にあてはまることば
を、あとの からえらび、かきましよう。

① (そそつかしい) まじよは、空とぶほうきを
森にわすれてしまった。

② この森のおくには、みんなからわすれられた
(古い) おしろがたっている。

③ (いじわるな) きつねは、森のどうぶつたち
にいたずらばかりしてこまらせていた。

④ まじよは、(ふしぎな) まほうのことばをつぶ
やき、きつねをこらしめた。

ふる	古い
そそつかしい	ふしぎな
いじわるな	

つぎの文の（ ）にあてはまることば

を、あとの からえらび、かきましよう。

① 今日きょうのじかん字じテストは、なん回かいも
れんしゅうしたので（かんたんだ）。

② 町まちたんけんに出でかけたら（新あたらしい）はっ見けんが
あつた。

③ （むずかしい）算数さんすうのもんだいをとくことが
できてうれしい。

④ ミニトマトの花はなのようすを（くわしく）
かんさつする。

かんたんだ くわしく

むずかしい 新あたらしい

つぎの文の（ぶん）
を、あとの からえらび、かきましよう。

① オリンピックで日本人が活やくするニュース
にっぽんじん かつ
を聞くと（**明るい**）き 気もちになる。

② たんごのせつくに（**りっぱな**）かぶとかざり
をかざってもびろう。

③ 今年も（**うつとうしい**）つゆのきせつが
ことし
やってきた。

④ 十五夜の（**うつくしい**）お月さまが町を
じゅうごや つき まち
てらしている。

うつくしい りっぱな

うつとうしい あか 明るい

つぎの文の（ ）にあてはまることばを、あとの からえらび、かきましよう。

① 東京スカイツリーに行くには、このバスが（べんりだ）。

② 東京スカイツリーのエレベーターには、江戸切子のぎじゅつをつかったガラスの（こまかな）もようがある

③ 水ぞくかんには、めったに見られない（めずらしい）魚がたくさんいた。

④ ペンギンの（おかしな）しぐさがかわいらしい。

おかしな	こまかな
めずらしい	べんりだ

つぎの文の（ぶん）
を、あとの からえらび、かきましよう。

① ぼくは、きみと（同じおな）いけんでうれしい。

② このようふくは、わたしに（ぴったりぴ）のサイズだ。

③ 遠回りとおまわをして、いつもと（ちがうち）道みちをとおって帰かえった。

④ となりの家いえの犬いぬによく（にたに）犬いぬを見みかけた。

おな	同じ
ちがう	ぴったり <small>ぴ</small>
にた	の

つぎの文の（ ）にあてはまることばを、あとの からえらび、かきましよう。

① 今日きょうは、雨あめがふる（**ような**）気きがする。

② あの雲くもは、くじら（**みたいな**）形かたちをしている。

③ このながめは、ゆめで見みたけしきと（**そっくりだ**）。

④ 台風たいふうが近ちかづいている（**らしい**）。

らしい ような
みたいな そっくりだ